

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和2年4月10日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をいたします。

まず、1の原子力規制委員会の関係ですけれども、(1)にございます次の第3回「原子力規制委員会」につきましても、一昨日の委員会でも委員長が話しておりましたが、4月22日の開催につきまして、4月20日月曜日に開催の有無をお知らせする予定であります。

2の審査会合の関係です。4月14日火曜日、(1)第347回「核燃料施設等の新規性基準適合性に係る審査会合」です。議題は1つで、日本原燃MOX燃料加工施設の設置変更許可に関しまして、引き続き、まとめ資料の確認を行うものです。

その次です。4月16日木曜日、(2)第856回「原子力発電所の新規性基準適合性に係る審査会合」です。こちらは主に議題が2つございます。

議題1は、電源開発大間原子力発電所の設置変更許可に関しまして、敷地ごく近傍の断層につきまして、昨年12月20日の会合のコメント回答を受けるものです。

議題2は、北海道電力泊発電所3号機の設置変更許可に関しまして、昨年11月15日に石渡委員等による現地調査が行われましたが、その後に事業者がF1断層に関して調査した事項について、事業者から説明を受けるものです。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。フクオカさん。

○記者 日本経済新聞のフクオカと申します。

14日と16日の審査会合は遠隔でやるものだと思うのですが、2元と3元があるかと思うのですが、どれが3元でどれが2元かというのを教えていただけますか。

○児嶋総務課長 3元というのは何を指していますか。

○記者 場所が3か所を遠隔で結ぶという。

○司会 すみません。今は把握できておりません。原燃については2元だと私は聞いております。あとは事業者によりけりだと思いますので、申し訳ございませんが、詳細については原課等に確認していただければと思います。

○司会 それでは、コツボさん。

○記者 朝日新聞のコツボです。

私も会合のことについて教えていただきたいのですが、石渡委員がテストをされたと思うのですが、その結果がどうだったのかということと、要は16日が入っているというのは遠隔でもできるという判断がされたのか、あるいはこれは遠隔でできるという個別ケースの判断になったのか、その辺りを教えていただけないでしょうか。

○児嶋総務課長 昨日、石渡委員も含めてテストを行ったと聞いています。結果としては、いわゆる少数でも来ていただかなくて大丈夫と。つまり今後も基本的には遠隔のみでやるという方向になったと聞いています。

○記者 ありがとうございます。

ということは、今回は大間と泊ですが、ほかのプラントにおいても遠隔で順次審査をしていくということでしょうか。

○児嶋総務課長 はい。その方向です。

○記者 ありがとうございました。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—